都市再生整備計画(第2回変更)

太田市中心市街地地区

群馬県　太田市

平成　19　年　8　月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	太田市	地区名	太田市中心市街地地区	面積	250 ha

計画期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度

目標

太田市の「顔」である「太田駅」を拠点に、交通結節点の機能強化、都市景観の向上などを一体的・総合的に整備し、歴史・文化・自然を融合した高付加価値のある新都市への再創造
目標1：都市機能が整備された、賑わい・潤いのある中心市街地の再生
目標2：金山と駅周辺地区を歴史と緑の回廊で結び、市民や来訪者の交流を創出

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

太田市は群馬県の東南部に位置し、北東部は栃木県足利市に、南部は利根川を隔てて埼玉県熊谷市に県境を接しており、平成17年3月に近隣の3町との合併により新「太田市」が誕生し市域面積は176.49km2であります。また、人口も20万超となり県下第3位であり、東毛地域における産業・経済を担う中核都市であります。
東毛地域における中核都市において、本市の玄関口である太田駅周辺地区は、江戸時代には日光例幣使街道の宿場町として、地域経済的にも行政的にも近郷近在の中心地として発展してきました。東武鉄道の開通、また軍事産業の隆盛を背景とした商業施設・行政施設の集積も進んで、市の歴史、伝統、文化、経済等の拠点としての役割を担ってきました。その後首都圏市街地開発区域の指定に基づき幹線道路網の整備及び都市基盤の整備、工業団地の造成による産業基盤の整備、そして市街化区域を含めた計画的な整備などで発展してまいりました。しかし、急激な車社会の到来、住居機能の郊外化、大型商業施設の郊外進出等により、当該地区において、居住人口の減少及び商業活動の衰退が著しく進み、「まちの顔」としての役割や機能が低下しております。
　そして、「新生太田総合計画」（案）を策定して「人と自然にやさしい、笑顔で暮らせるまち太田」の実現のため、将来を展望した基本構想（平成19年度～平成28年度）、行動計画としては前期後期5年間に分けるなど実現に向け、目標年度を平成28年度としております。本地域の位置づけとしては、「都市産業共生ゾート」として、市街地の再整備を含め都市機能の更なる再編成・都市機能の強化を図り、魅力あるまちづくりを推進する地区として提唱しています。また、「新生太田総合計画」で提唱している計画を軸に「太田市マスタープラン」の変更・修正を進めております。中心市街地は本市の中心的な商業・業務地区として位置づけられ、鉄道高架事業・区画整理事業・再開発事業を提言し、市の玄関口にふさわしい高次都市機能の集積、交流機能、商業機能、交通機能を整備し、良好な都市景観の創出及び都市の緑の保全とオープンスペースの保全並びに災害に強い市街地の整備、そして良好な都市環境づくりを目指しております。
また、市街地の整備改善及び再生のため「太田市中心市街地活性化基本計画」（平成15年策定）に基づき、連続立体交差事業による鉄道の高架化、区画整理事業による土地の有効利用及び快適な住環境、商業環境の整備を実施しています。
特に区画整理事業を契機に、より快適な街をつくるため地域住民（商業者含む）と行政・学識経験者による協議会・研究会等の組織が発足し、駅周辺整備計画・再開発事業の計画・事業化にむけて意見交換を実施するなど、まちづくり活動が行われています。

課題

市中心市街地地区は、公共交通の要衝であり、商業・業務施設及び公共施設が集積しているが、経済活動の衰退や少子高齢化による定住人口の減少、また土地の有効利用が不十分で良好な都市環境空間の整備が立ち遅れています。地方の中核都市に相応しい都市機能・基盤の更新と構築、快適な都市環境の創造、都市空間における緑の保全・創出、活力ある商業・産業の実現、交流・連帯の促進など、中心市街地の再生を図ることが急務です。
その方策として、既存施設や商店街、新たな機能をもつ施設等を結ぶ連携軸の中心的役割を備えた地区として変革し、都市・生活文化の交流・創造・発信拠点として、安らぎのある「都市空間の形成」などにより、中心市街地の再生を図る必要があります。

将来ビジョン（中長期）

中心市街地における市街地の整備改善と商業等の活性化を含めた一体的な推進、また本市の玄関口に相応しい中心市街地の形成
○本市の「新生太田総合計画」基本構想においては、この地域が、産業、業務、居住、歴史及び文化などの都市機能の集積などがあり「都市・産業共生ゾーン」として提唱しております。また、機能的で安全・快適な市街地の形成と交流人口の更なる拡大を図り、高度都市機能の核となる拠点として位置づけております。
○太田市都市計画マスタープランにおいては、中心市街地を活性化させるためには「定住人口を回復」させる課題と広域交通拠点の形成、商店街ににぎわいのあるまち、高齢者や障害者にやさしい災害に強い都市空間の整備、自然的環境や歴史的遺産と都市的環境とが調和する環境形成などを、この地域の将来像として「両毛地域の中核都市」にふさわしい都市機能の整備ゾーンとして位置付けられています。
○中心市街地活性化の基本コンセプトを盛り込んだ「太田市中心市街地活性化基本計画」、「太田市環境基本計画」などでも位置付けられています。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅（前）利活用数（駅利用含む）	人/日	駅（乗降者）利用者数	地域の交通結節地として、駅周辺の歩行者・自動車流動が増大し賑わいを創出する。	9,600	16	10,500	22
観光客入れ込み客数	人/日	太田市観光の入りこみ客の内の当地区に寄る人数	太田市の金山散策及び観光客の入れ込みが重要であるため、イベントごとにしている実数を用いる。	400	16	450	22
市民満足度・重要度アンケート	平均値	市街地の整備満足度のポイント	市民満足度を向上させるために、快適な都市空間の整備と、潤いのある市街地整備を図る。	3.584	16	4.000	22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・拠点整備（交通の拠点整備） 駅前広場は都市の貴重な公共空間であり、また生活軸、商業軸のクロスポイントとして重要な役割をはたすことから、交通結節点としての機能強化に資する再整備及び景観に配慮した、新たな「街の顔」を演出する空間整備を行う。 具体的には、高齢者・身障者に配慮したバリアフリー化をはじめとした歩行者の安全確保、バス・タクシーの利用利便性の向上のためのシェルターの設置、モニュメントの設置、広場の機能として身近なポケットパーク的なスペースの確保など、都市の顔としての魅力の創出を図る。	太田駅周辺土地区画整理事業(基幹事業/土地区画整理事業) 南北自由通路整備事業（基幹事業/高次都市施設） 駐輪場整備事業（基幹事業/地域生活基盤施設） 駐車場整備事業（基幹事業/地域生活基盤施設） 太田駅北口駅前整備事業（基幹事業/高質空間形成施設） まちづくり連合会運営費補助（提案事業/まちづくり活動推進事業） 自転車保管施設整備事業（提案事業/地域創造支援事業）
・整備方針（やすらぎとうるおい及び産業・文化を感じる質の高い生活拠点整備） 市民生活の向上や人々の交流、市民活動の促進、都市の緑の保全と創出を図るべき歩行空間の確保を行う。回遊性を盛り込んで季節豊かな市街地の形成、うるおい・憩いの場を整備する。 市民の生活・文化の向上及び地域産業が生み出す新たな「市民・文化」と交流、市民活動の促進、緑を含めた新たな都市基盤の整備と創出を図る。また、地域産業が生み出す活力による交流人口の拡大及び潤い・憩い場を整備する。	呑龍公園整備事業（基幹事業/公園） 御城道改修事業（基幹事業/高質空間形成施設） 河川改修（小蛇川）事業（提案事業/地域創造支援事業） 金山遊歩道整備事業（基幹事業/高次都市施設） 金山大手道環境整備事業（基幹事業/高質空間形成施設） 地域活用センター（基幹事業/高次都市施設） 下水道整備事業（提案事業/地域創造支援事業） （仮称）ものづくり教育研究施設整備事業（基幹事業／高次都市施設） （仮称）ものづくり教育研究施設整備事業（提案事業／地域創造支援事業） 市道太田高山太田小裏101号線整備事業（基幹事業／道路） 市道本町92号線整備事業（基幹事業／道路）
・整備方針（高架下利用による交通環境・改善） 鉄道の高架化による土地の有効利用による整備を行う。 また、高架下は太田駅までの機能的で安全な連続した空間を形成するとともに、市民活動の拠点としての再創出、歩行者や自転車等による「通勤通学路」と考え、開放感のある空間づくりと日常生活を意識した空間づくりを整備する。	南北自由通路整備事業（基幹事業/高次都市施設） 駐輪場整備事業（基幹事業/地域生活基盤施設） 駐車場整備事業（基幹事業/地域生活基盤施設） 公衆用トイレ整備事業（基幹事業/高質空間形成施設） 観光案内所設置事業（提案事業/地域創造支援事業） 市街地再開発検討会運営補助（提案事業まちづくり活動推進事業） （仮称）駅なか文化施設整備事業（基幹事業/高次都市施設）

その他

○事業終了後の継続的なまちづくり活動

本市の中心市街地のまちづくりは、行政・商業者・市民が連携・協力していくことが必要で、特に、文化・交流活動や情報の拠点の利活用等は、商業者・市民主体のある継続的な取り組みを果たすべく、意見交換会ワークショップを実施している。

○街並み形成の誘導を図るための方策について

当該地区においては、街路事業、太田駅周辺土地区画整理事業を実施しており、駅前広場やその周辺における道路網整備及び景観なども併せて検討していきます。また拠点に必要な賑わいの施策や活動について、市民参画による共同作業の取り組みの中で実施します。

○交付期間中の計画の管理

交付期間中においては各種の事業を円滑に進め、目標に向かって確実な効果をあげるために、事業成果についての評価や事業の進め方の改善を行い、随時、市民に公開する。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	3,578	交付限度額	1,353	国費率	0.378

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路														
道路		市道101号線	太田市	直	L＝132m W＝4m	H19	H19	H19	H19	6	6	6		6
道路		市道92号線	太田市	直	L＝58m W＝4m	H19	H19	H19	H19	3	3	3		3
公園		呑龍公園整備	太田市	直	A＝4,951㎡	H19	H19	H19	H19	50	50	50		50
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設（自転車駐車場）		高架下整備	太田市	直	1箇所	H18	H20	H18	H20	48	48	48		48
地域生活基盤施設（情報板）		地区エリア内	太田市	直	8基	H19	H20	H19	H20	8	8	8		8
高質空間形成施設（歩行支援施設）		高架下整備	太田市	直	1箇所	H18	H18	H18	H18	16	16	16		16
高質空間形成施設（緑化施設等）		太田駅北口駅前整備	太田市	直	6,300㎡	H18	H21	H18	H21	131	131	131		131
高質空間形成施設（緑化施設等）		御城道（太田高山通84号線）	太田市	直	L＝1,200m W＝4～8m	H16	H22	H18	H22	100	100	100		100
高質空間形成施設（緑化施設等）		金山大手道環境整備	太田市	直	L＝150m W＝2m	H20	H22	H20	H22	100	50	50		50
高次都市施設（人口地盤等）		南北自由通路整備	太田市	直	（面）L＝43m W＝20m	H18	H19	H18	H19	85	85	85		85
高次都市施設（人口地盤等）		金山遊歩道整備	太田市	直	（歩）L＝900m W＝1.5m （橋）L＝22m W＝2m	H18	H22	H18	H22	80	80	80		80
高次都市施設（地域交流センター）		地域活用センター整備	太田市	直	A＝900㎡	H18	H21	H18	H21	444	444	444		444
高次都市施設（地域交流センター）		ものづくり教育研究施設整備	太田市	直	A＝8,784㎡	H18	H20	H18	H20	1,314	922	922		922
高次都市施設（地域交流センター）		駅なか文化施設整備	太田市	直	A＝750㎡	H19	H20	H19	H20	194	194	194		194
既存建造物活用事業		―			―									
土地区画整理事業		太田駅周辺地区	太田市	直	31.0ha	H8	H22	H18	H21	300	300	300		300
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,879	2,437	2,437	0	2,437 …A

提案事業

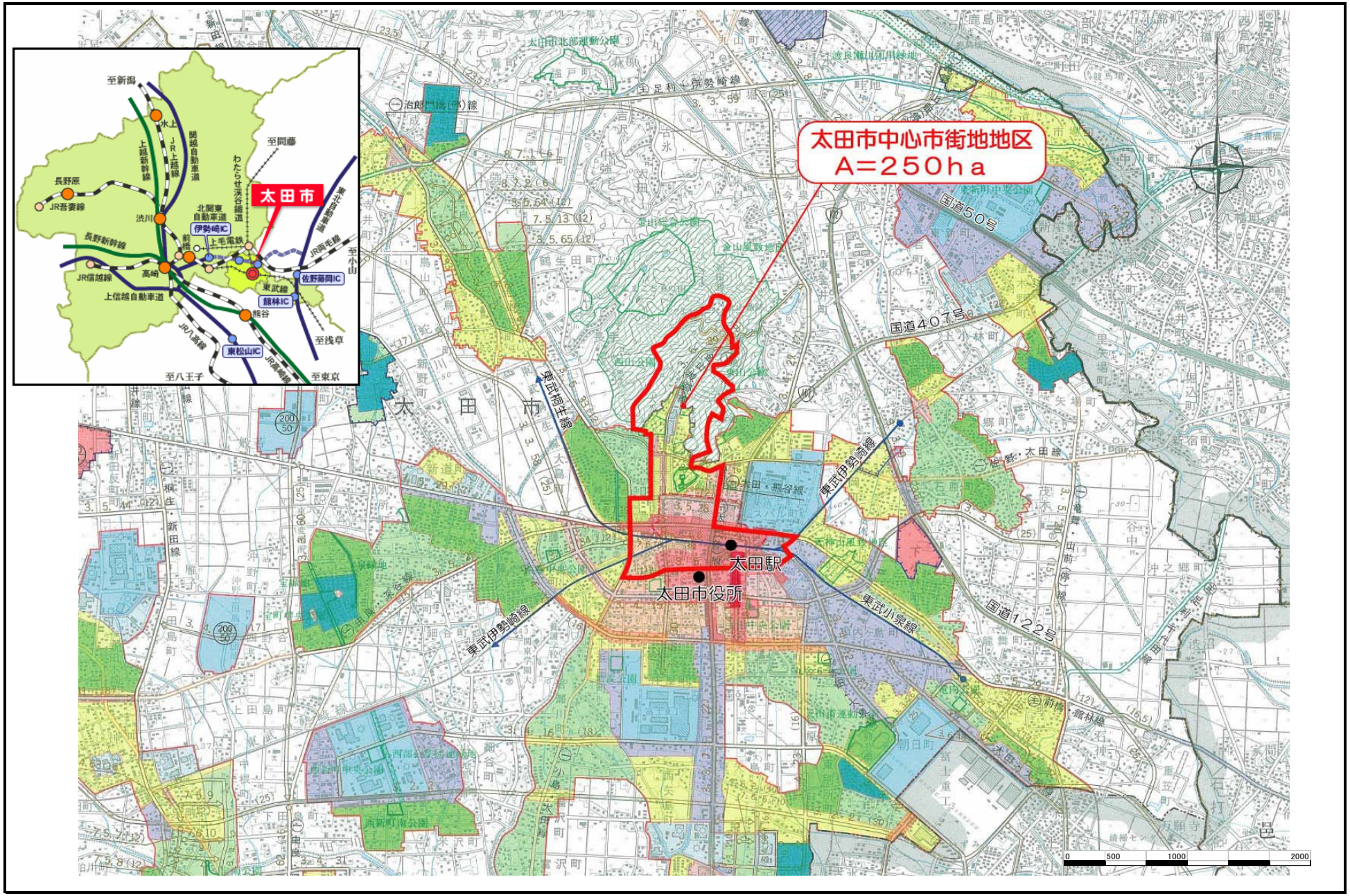
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	観光案内所整備事業	太田駅地内	太田市	直	A＝246㎡	H18	H18	H18	H18	18	18	18		18
	下水道整備事業	地区エリア内	太田市	直	L＝630m	H18	H21	H18	H21	33	33	33		33
	河川改修整備事業	小蛇川	太田市	直	L＝400m	H18	H22	H18	H22	260	260	260		260
	ものづくり教育研究施設整備事業	ものづくり教育研究施設整備	太田市	直	A＝4,948㎡	H18	H20	H18	H20	816	816	816		816
	自転車保管施設整備事業	高架下整備	太田市	直	A＝640㎡	H19	H19	H19	H19	9	9	9		9
事業活用調査		―			―									0
		―			―									0
まちづくり活動推進事業	まちづくり連合会事業	―	まちづくり連合会	間	―	H18	H22	H18	H22	7	7	3	4	3
	市街地再開発検討会事業	―	検討会	間	―	H18	H22	H18	H22	5	5	2	3	2
合計										1,148.0	1,148.0	1,141.0	7.0	1,141.0 …B
													合計(A+B)	3,578

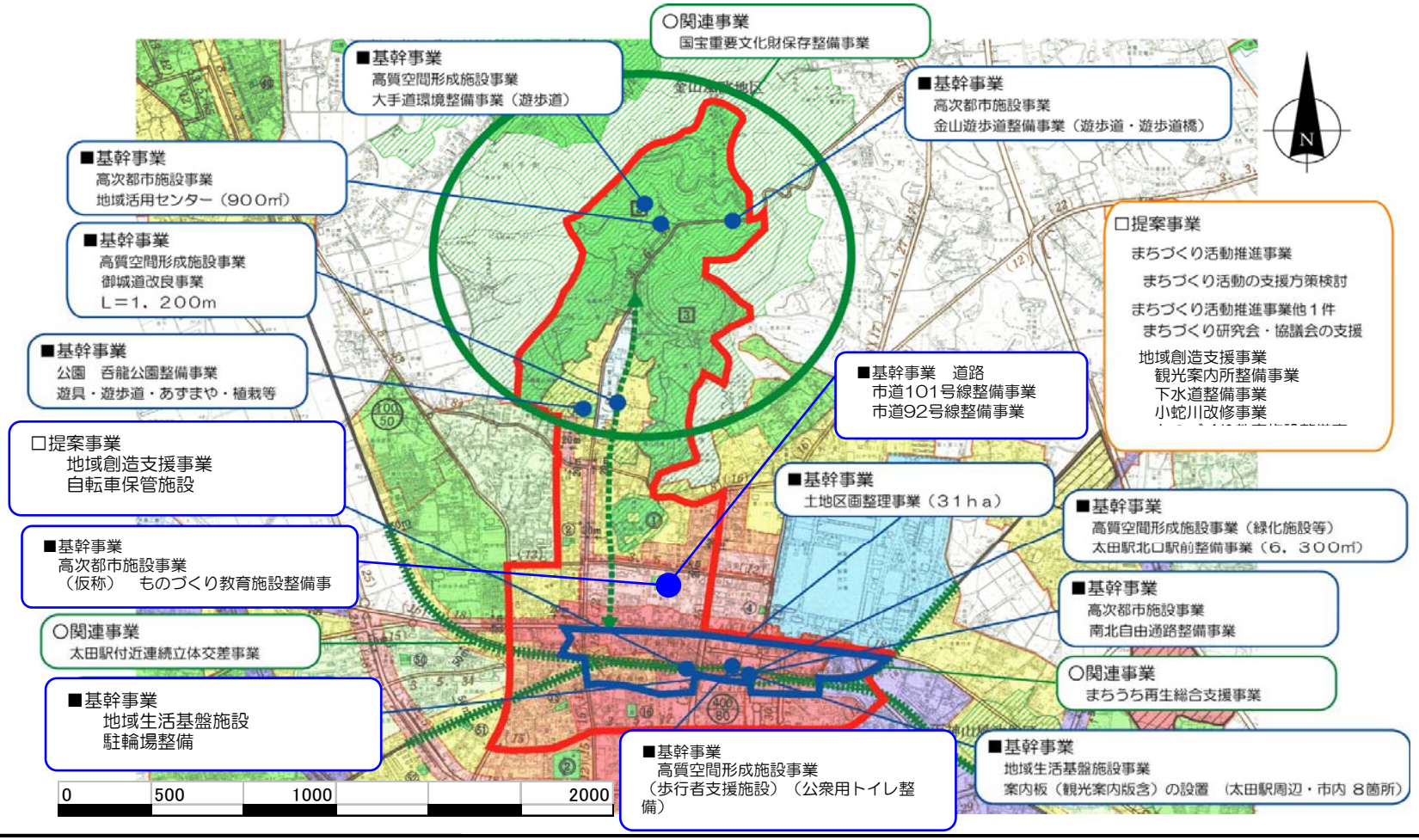
（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
太田駅周辺土地区画整理事業(特会)	太田駅周辺地区	太田市	国交省	31.0ha		○			8	22	23,700
太田駅付近連続立体交差事業	太田駅付近地区	群馬県	国交省	L＝6,365m		○			8	18	34,350
まちうち再生総合支援事業	太田駅周辺地区	太田市	群馬県			○			17	20	5
国宝重要文化財保存整備事業	史跡金山城跡地区	太田市	文化庁	120.0ha		○			19	23	1,656
合計											59,711

都市再生整備計画の区域

太田市中心市街地地区（群馬県太田市）	面積	250 ha	区域	太田市金山町、本町、東本町、西本町、飯田町、新島町、浜町の各一部



太田市中心市街地地区（群馬県県太田市） 整備方針概要図

目標	太田市の「顔」である「太田駅」を拠点に、交通結節点の機能強化、都市景観の向上などを一体的・総合的に整備し、歴史文化自然を融合した高付加価値のある新都市への再創造	代表的な指標	駅（前）利活用数	（人／日）	9,600	（16年度）	→	10,500	（22年度）
			観光客入れ込み客数	（人／日）	400	（16年度）	→	450	（22年度）
			市街地の整備	（平均値）	3.584	（16年度）	→	4.000	（22年度）